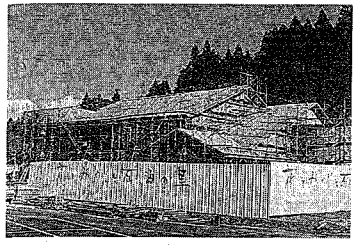
市長施政方針

進めたいとして農地転用許可基準緩和の方向を打ち出したところであります。未だその詳細は示されてはおりませんが、私どもにとっては時流にあった農振制度運用の弾力化や農用地区域除外の特例措置などに期待するものであり、一挙に制度緩和の方向が図れないとしても、そうした気運は前進と受け止め、機をとらえ適切な方針のもとで対処してまいりたい所存であります。

一方、転作に関連致しまして、生産者等の自助努力による米の消費拡大がなされても、その努力の結果が生かされなければなりません。こうした反省に立って、新年度においては「新規活用米生産緊急対策」のもと、米消費拡大に相応する面積の中で需要開発米生産による転作の緩和を少しでも図っていくことと致しました。そのためにも、農業協同組合との共同歩調で価格補填策等を講じるなど、農家負担の軽減に努力してまいります。

また、ふるさと特産品及び本物指向、さらに食品の安全性を求める消費者ニーズに応えるため、特産品の開発とともに農産物加工施設の設置や柿の簡易脱渋事業に取り組み、農工商の連携のもとで産業振興の一助に資していきたい考えであります。このほか、花き総合センター事業の一層の推進を図る中で新たに「チューリップ祭」などのイベントを企画し、名実ともに花き産地としての機能を発揮するよう努めてまいります。

なお、新津郷における国営灌漑排水事業が新年度をもって工事を完了し、平成二年度から負担金償還が予定されるところであります。このため、県並びに関係団体との検討協議を踏まえる中で、農家負担の軽減が図れるよう一層努力を傾注してまいります。



6月オープンをめざし、工事が進む観光物産館

次に、視点を変えた産業活動の活発化であります。市民意識調査においても「産業の振興」が図れることによって「活気がでる」、「働く場が増える」といずれも集中した回答が寄せられ、期待の高まりを認識するものであります。

まず、そのための一つには、消費者自体の意識と行動の変化が指摘される中で商業者自らの自助努力に期待しながら、行政として果たすべき商業環境の改善に目を向けていかなければなりません。とりわけ本町三丁目駐車場は、これまでの経過において議会のご支援と民意の積極的な参加により計画が成就されたところであり、市街地の環境改善に一石が投じられ得たことと思うのであります。昨年度のゼロ番線の活用に引き続き市民の活力を源泉とした「公共の思想」という確かな行為にほかならず、活性化への明るい展望を開くものと思料致しているところであります。そこで新年度におきましては、その支援策として管理措置とともに「市街地活性化緊急対策資金貸付制度」を新設し、バックアップを図っていくことと致した次第であります。また、今後は活性化への弾みを十分考慮に入れ、行政と民間の共通理解を深めながら、関係団体との共同歩調の中で一層の環境改善に努めてまいります。なお、このほか「産業育成資金」など事業の活発化を支援する制度資金についても引き続き措置をしたところでありますが、特に新年度においては労働金庫との提携のもとで「貸付金制度」を新設し、運用枠と低利融資の活用をもって勤労者福祉の一助に資することと致しました。

一方、工業団地計画でありますが、省みてその見通しや変更を余儀なくされてきた経緯から、先の基本方針にも述べたとおり最大限の努力を傾注していくことと致しました。そのためにも企業への果敢なアタックが必要であり、戦法を駆使した企業誘致の推進対策とともに開発に際しての基本設計などの所要な措置を講じ、準備を整えさせていただいたところであります。

次に観光面からの活発化であります。まず『石油の里』の核施設に予定する「観光物産館」の建設でありますが、引き続き取り組みを進めることで六月にもオープンできる見通しであります。本施設は、新津に接し、語らい、味わって新津を理解してもらえるよう『ふるさと観光』を集約し、側面から地域の振興、活性化の起爆剤としてまいりたいものであります。また、その運用形態にありましては行政になじみにくい面を持ち合わせておりますだけに、委託を前提に当面の運用を図っていくことと致しました。しかしながら一方で、民活活用をもって商業ベースのノウハウ集約を容易にするなど、創意ある効果的運営を期待する手法も捨て切れません。それには将来にわたる継続性や責任体制など踏み込んだ検討も必要と考えますが、どちらにしても今後において最大のメリットを選択していく方向で対処している所存であります。

なお、石油文化振興財団は発足以来二年目を迎えます。「石油の世界館」の管理運営に大きく貢献しているところですが、計画に沿って財団の基本財産目標達成に所要の出捐金措置を講じた次第であります。

ところで、「観光物産館」のオープンを契機に、近隣の名所地をプラスした誘客対策が何にもまして大切になってまいりますが、幸いにも、この四月から新潟駅を始発に北方文化博物館と石油の世界館を結ぶ通年観光の定期バス運行計画が具体化し、首都圏などからの誘客にその弾みを期待しておるところであります。本年度からでもさらに誘客の足掛かりを築くべく、県内外の大手エージェントや温泉地などを主体に、石油の里・花の里の観光ルートへの組入れなどの働きかけを精力的に進め、足でかせぐアピールと手段を尽くして広く観光宣伝に努めてまいりたい所存であります。

お買物、ご用命は市内で

♡手づくりのデリカ家♡
健康はその人の食べ方で決まります。
玄米かゆ・胚芽・紅花マーガリン・マヨネーズ・玄米フリカケ・あわ・きび・そばをどうぞ！
4月長崎屋教室

4／7（金）	バターロール	午前
14　〃	ミルフィーユ	10：00～12：00
21　〃	笹だんご	会費　800円
28　〃	カツウラ美肌教室	会費　無料

申し込み・問い合わせ　長崎屋1F　デリカ家　☎ 24-7936

つけ麺大王
新津市本町二
TEL(22)七六七八

エビうま煮ラーメン・天ぷらそば
生姜焼肉定食・オムライス・ハンバーグカレー
食堂 新栄軒 (22)1854
居酒屋 新栄茶屋 (24)3773

平成元年度

幸せづくり

さて、本格的な高齢化社会が間近に迫りくることとなりました。これに伴い、安心して生きがいをもって暮らせる条件づくりや生涯を通じた健康づくりなど、これからの時代にふさわしい対応が必要であります。的確に軟着陸していかなければなりません。

新年度に臨む福祉施策は、特に高齢者並びに障害者福祉、そして要保育児童対策などを重点として適切な推進を図ることと致しました。

まず高齢者福祉でありますが、長期的、総合的な対応を図る見地から、要援護老人などの実態把握を通し、今後の対策指針を策定することと致しました。また、高齢者が豊かな経験と知識を生かし、生きがいある活動に参加できるよう必要な条件整備に留意し、在宅福祉サービスの充実にも力を入れていくこととしています。そのためにも「高齢者サービス調整チーム」を強化し、保健、医療、福祉の有機的な連携をもって実効をあげてまいりたい考えであります。

障害者福祉対策であります。障害者が困難を克服して自立と社会参加ができるよう必要な援助や条件づくりが大切であり、適切な施策を進めていかなければなりません。新年度においては障害者の生活安定と社会参加を促すため必要な措置を講じていくことと致しましたが、特に心身障害者福祉センター山の家は、指導目的に沿った内部の一部改修を行い、年次的に改善を図ってまいります。

要保育児童対策については、長期展望のもとに保育所の適正配置を確保し、定員、施設、保育内容などについて検討していかなければならないものと考えます。近年は市内の保育所の大半が定員に満たない現況におかれている中で、とりわけ中沢保育所の入所児が定員の五〇％と極端に低くなっているため、今後の児童数の推移等を勘案し、この度適正定員を措置していくことと致した次第であります。他方、小合西保育園施設の老朽化に伴い、地域で積極的な移転改築の計画が進められているところでありますので、必要な助成を講じてまいります。

なお、このほか経済的に困難な要保護者の自立助成の促進やボランティア家庭奉仕事業など、福祉の増進に努めてまいる所存であります。

次に保健事業に関連致します施策であります。長い人生の中で、健康な生活が送れることほど幸せなことはありません。このため、引き続き「自分の健康は自分で守る」ことを基調に、「バランスのとれた栄養」、「適宜な運動」、「豊かな休養」を市民の健康づくりのキーワードとして、側面からきめ細かな保健医療対策を推進してまいります。特に新年度においては、成人病予防対策と各種検診事業を最重点に据え、健康づくりの強化を図っていくことと致しました。

成人病予防にはこれまで種々対策を講じているところですが、この度「肺がん検診」をモデル地区の範囲から新たに全地区に拡大し、本格的に実施に移していくこととしたものであります。このほか高齢者への訪問介護の強化を始め、在宅寝たきり老人などの援助協力や母子保健の推進とともに、血液自給体制の整備なども積極的に進めてまいりたい考えであります。同時に、老人医療費の適正化対策のもと保健指導面にも重点をおいた対策を進めてまいります。

一方、国民健康保険につきましては、制度上の問題など当面する課題が多岐にわたっていることはご承知のとおりであります。まず、それらの改善策等に力を注ぎ、あらゆる機会を通して国保が真に地域医療の保障制度となるようこれからも一層の努力を重ねていきたい所存であります。新年度に臨んでは、取りあえず収納率の向上、医療費適正化対策の継続と啓蒙活動の強化を柱として取り組みを進めていくことと致しました。また、その事業の一環として新たに「人間ドック」助成事業を試み、保健施設の活動強化と健康づくりの一助に資することと致した次第であります。

人づくり

続いて、次の時代を担う子どもたちや市民の皆さんに心豊かな生活を送ってもらうために、いろいろな面でたゆみない条件づくりが必要であります。

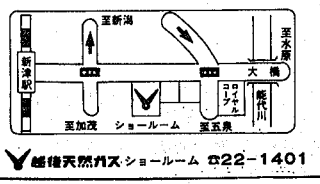
まず、義務教育施設の改善に関しましては、老朽校舎の改築と鉄筋校舎の改修を重点に取り組むことと致しました。木造校舎として活用が図られている小合東小学校は、その改築が目下の緊急な課題となっておりましたため、年次計画をもって整備に当たりたいものであります。新年度においては、現在の教育環境に配慮して鉄筋コンクリート造り二階建ての校舎棟に食堂棟も一挙に取り込み、順次運動場の改築へと整備を広げていくことと致しました。また、新津第二小学校においても、二年次目の大規模改修事業として引き続き施設の改善確保を図ってまいります。

一方、教育行政の中では、主に「学校現場の指導の充実」と「児童・生徒の学力向上」に努めていくことと致しました。教育課程の大幅な改定に伴う指導体制や教育機関の活性化をねらいとして教育水準の向上に資していくとともに、小・中学校二か校を研究推進モデル校として指定し、新たに基礎学力の向上事業を推進したい考えであります。なお、小学校一年生の健康づくりに配慮して、保健事業の側面から新規に「心臓検診」の実施も計画致したところであります。

他方、「青少年を非行から守る県

お買物、ご用命は市内で

皆様の　ガス・ショールーム
ガス器具は長～い友達
故障、修理は専門家に
アフターサービス完全
技術と信用



越後天然ガス・ショールーム　☎22-1401